

ウインドイスター

取扱説明書

このたびは弊社の商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書および商品に
貼り付けしたラベルをよくお読みください。
この取扱説明書は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

目 次

注意していただくこと	・・・ P 2 ～ 5
1. 各部の名称	
■ 引分け開閉仕様	・・・ P 6
■ ダブルオープン仕様	・・・ P 7
2. 引分け開閉仕様 操作方法について	
■ ガラス障子を開くとき	・・・ P 8 ～ 9
■ ガラス障子を閉じるとき	・・・ P 10 ～ 11
3. ダブルオープン仕様 操作方法について	
■ ガラス障子を開くとき	・・・ P 12 ～ 13
■ ガラス障子を閉じるとき	・・・ P 14 ～ 15
4. ラッチの操作	・・・ P 16
5. 豆知識	・・・ P 16
6. お手入れについて	・・・ P 17 ～ 18
7. 保守点検について	・・・ P 19
8. 修理依頼について	・・・ P 19
9. 商品保証について	・・・ P 20

販売店・工事店様へ

この説明書は、施工後、お施主様へ必ずお渡しください。

■表示の種類と内容

この取扱説明書では、人身事故や財産への損害を未然に防止するために、安全に関する重要な注意事項には、次のような表示をしております。
内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

表 示	内 容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者などが負傷する危険、または物的損害の発生が想定されることを示しています。
お願い	取り扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、本来の性能が発揮できなかったりすることが想定されることを示しています。

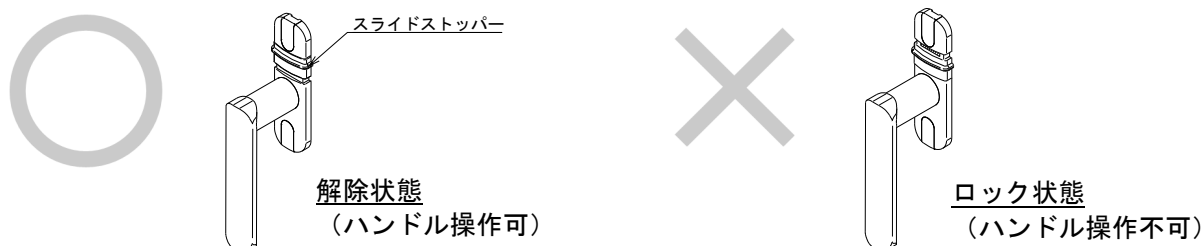
注意していただくこと

■ハンドルの操作について

ガラス障子を開く際には、必ずハンドルのスライドストッパーが解除された（緑の表示が見えていない）状態にしてください。

スライドストッパーがロックされた（緑の表示が見えている）状態で無理にハンドルを回しますと、ハンドルが破損するおそれがあります。

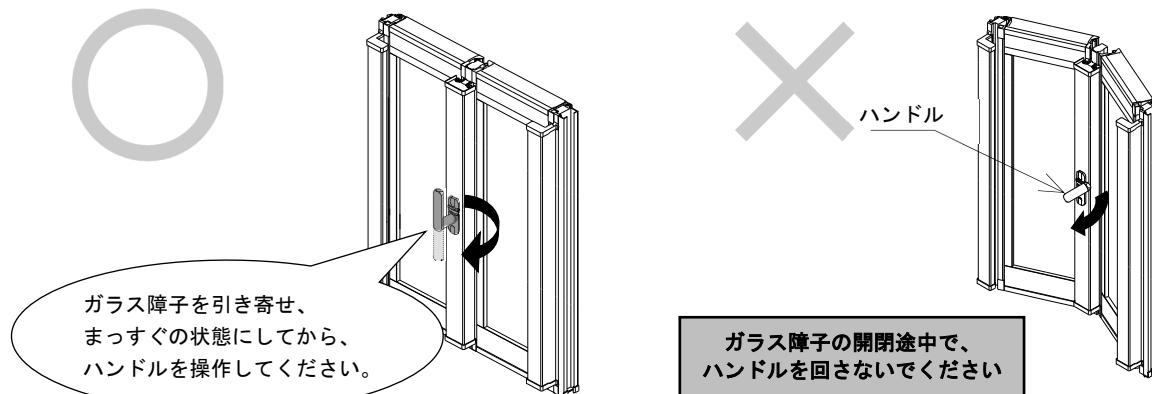
また、ハンドルのスライドストッパーは、ハンドルがロックされた（ハンドルが下向きの）状態であれば、ロックすることはできません。



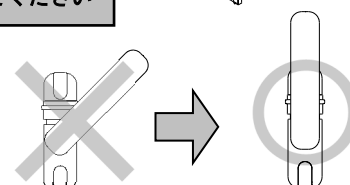
ガラス障子2枚を引き寄せ、まっすぐの状態にしてから、ハンドルを操作してください。

ガラス障子2枚がまっすぐでない状態でハンドルを操作しないでください。

無理にハンドルを回さず、一度ガラス障子をまっすぐの状態にしてから、再度ハンドルを回してください。



ガラス障子の開閉途中でハンドルが斜めになっている場合は、ハンドルを上向きにしてからガラス障子进行操作してください。

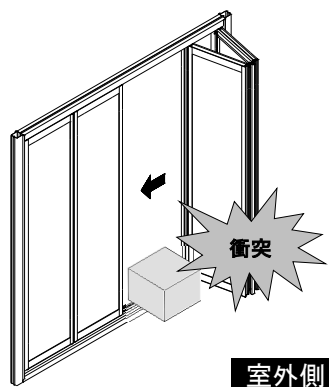
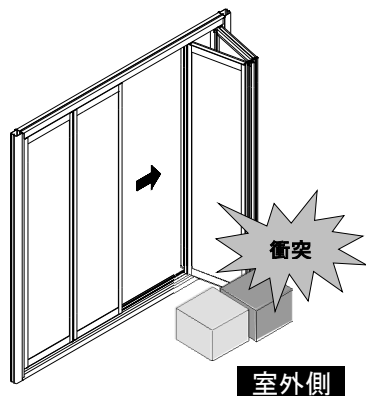


注意していただくこと

■ ガラス障子の開閉について

ガラス障子を開く／閉じる際に、ガラス障子付近に物が無いこと・人がいないことを確認してください。

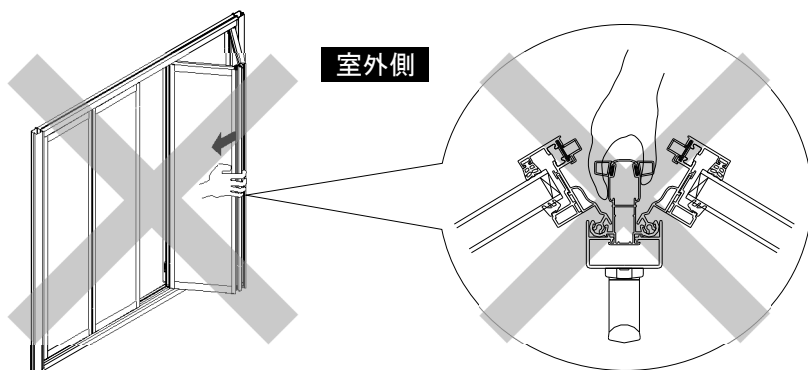
商品や物の破損、けがや事故のもとになるおそれがあります。



室外側からガラス障子を閉じる際は、ガラス障子の折れた部分（連結部）を持って操作しないでください。

指を挟み、けがをするおそれがあります。

特に、小さいお子様ですと危険ですのでご注意ください。

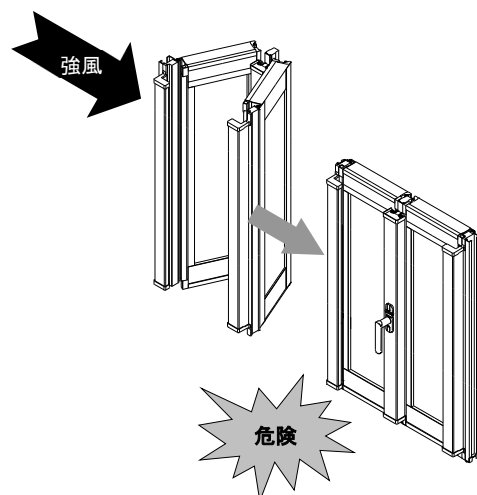


風の強い日^(注)にガラス障子を開いた状態にしておきますと、風でガラス障子が動き、商品の破損やけがのおそれがありますので避けてください。

また、ダブルオープン仕様（7 ページ参照）において、ガラス障子を開閉する際は、左右の面付錠のどちらか一方が施錠されていることを確認してから操作してください。

面付錠を左右どちらも施錠せずにガラス障子を開閉しますと、開閉途中でガラス障子が風にあおられ動き出し、商品の破損、けがや事故のもとになるおそれがあります。

（注）：紙がちらばる・髪が乱れる・小枝が動くなどの影響がでるような風のとき。

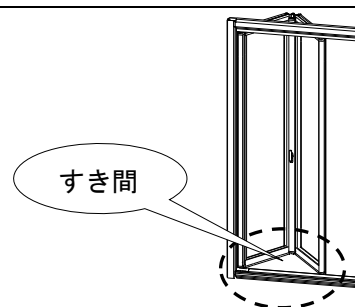


注意していただくこと

■ ガラス障子の開閉について

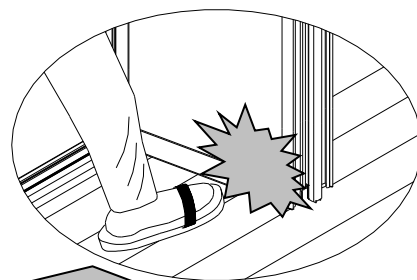
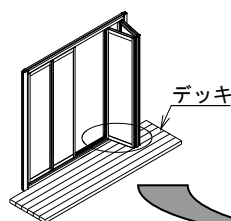
ガラス障子を開閉する際に、ガラス障子と下枠の間に三角のすき間が発生します。

特に、小さなお子様による誤った操作には注意してください。



室外側にデッキなどが仕上がっている場合、ガラス障子とデッキとのすき間が狭くなっています。

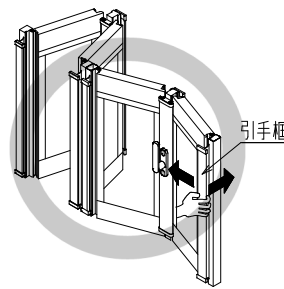
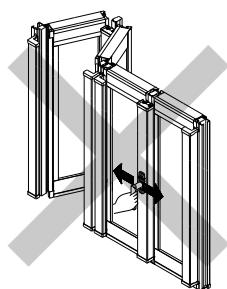
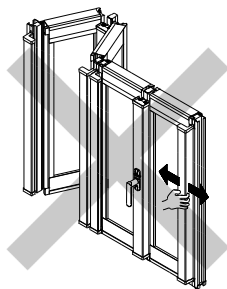
素足、またはつま先が出るようなスリッパの場合、つま先を挟むおそれがありますので、出入りの際は注意してください。



■ ガラス障子の開閉について（横スライド開閉）

ガラス障子を横にスライドさせる場合には、必ずハンドルのロックを解除し、引手框を持って操作してください。

ガラス障子を閉じた状態での横スライド開閉を行いますと、商品が破損するおそれがあります。

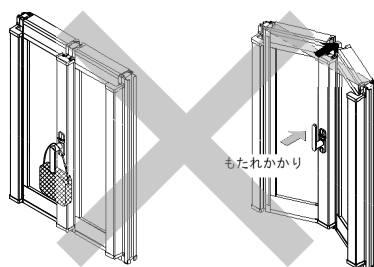


■ その他

ハンドルに物をかけたりしないでください。

また、ガラス障子にもたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。

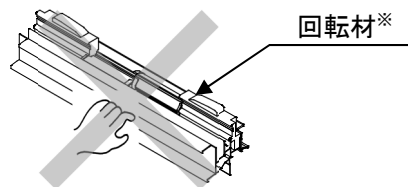
商品や物の破損、けがや事故のもとになるおそれがあります。



注意していただくこと

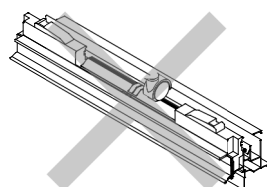
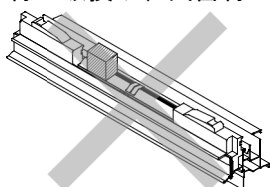
■ 下枠について

下枠の回転材を指で押したりして遊んだりしないでください。
指を挟み、けがをするおそれがあります。
特に、小さいお子様ですと危険ですのでご注意ください。

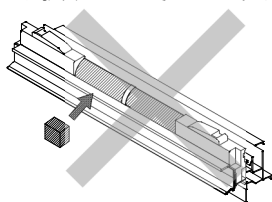


※回転材とは、下枠に取り付けられており、ガラス障子のハンドル操作に連動して回転する部材のことです。
(6～7ページ参照)

下枠（回転材）の上に重いものを長時間、置かないでください。
気密材が変形し、性能低下の原因になります。
また、車輪が硬いものや、重量物（ピアノなど）を走行させないでください。
樹脂部材の破損や、気密材の破損につながります。

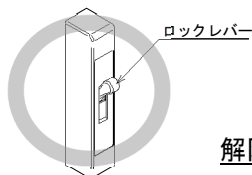


ガラス障子を閉じているとき（回転材が起き上がっている状態）に、
回転材に物をぶつけないでください。
商品が破損するおそれがあります。

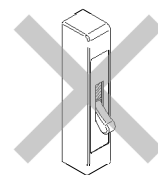


■ 面付錠について

ガラス障子開閉の際には、必ず面付錠が解錠された状態（ロックレバーが上向きの状態）にしてください。
面付錠が施錠された状態で、無理にガラス障子を開閉しますと、面付錠が破損するおそれがあります。
また、面付錠は施錠の補助部品であるため、面付錠のみでのロックはおやめください。



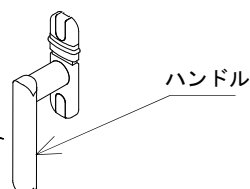
解除状態



ロック状態

面付錠の解錠は、すべてのハンドルが下向き（ロックがかかっている状態）になっていることを確認してから行ってください。
ハンドルが上向きになっている状態で面付錠を解錠しますと、風などでガラス障子が動き出し、けがや商品の破損につながるおそれがあります。

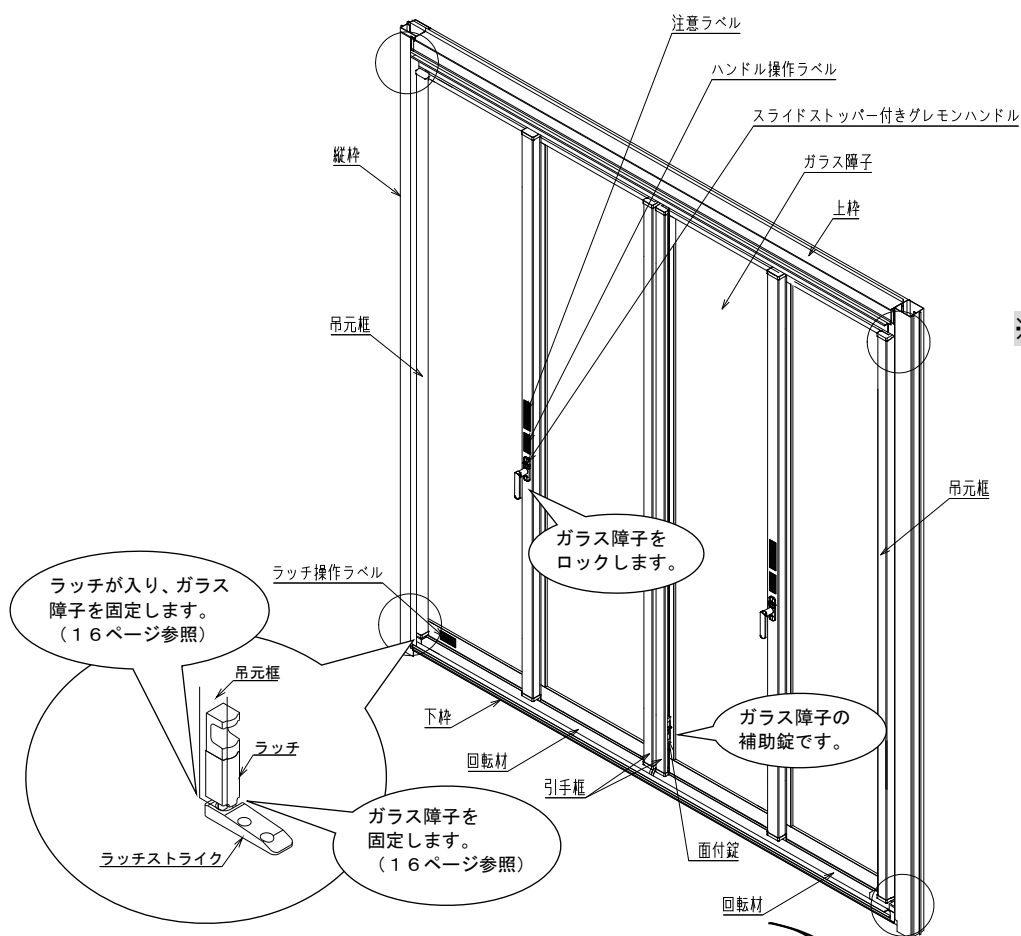
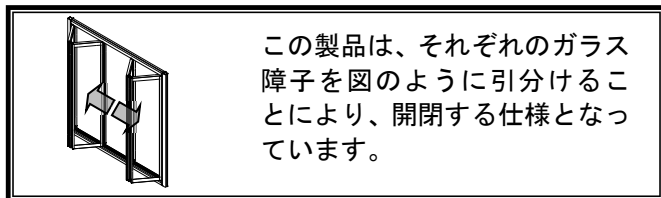
下向きになっていることを確認



1 各部の名称

ガラス障子全閉図

引分け開閉仕様



※注意ラベル



注意

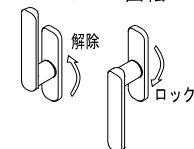
- ガラス障子の開閉が軽い場合、風により動く場合があります。
- 開放時は、半開状態にせず全開状態で必ずキャッチをセットしてください。



※ハンドル操作ラベル

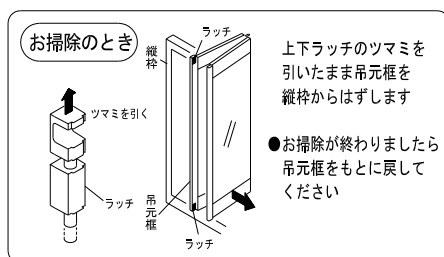
ハンドルの操作について

- ハンドルはガラス障子がまっすぐな状態で確実に180°まわしてください。
(開) (閉)
180°回転

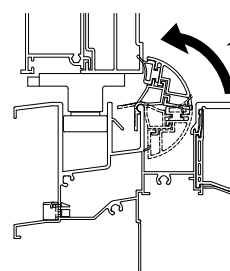


- ガラス障子を閉める際は必ずハンドルを持って開めてください。
- 開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。

※ラッチ操作ラベル



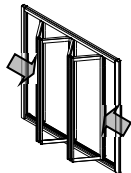
室内側



○印は、ラッチ、ラッチストライクが付いている箇所です。

ガラス障子全閉図

ダブルオープン仕様



この製品は、それぞれのガラス障子がすべて連結されており、図のように縦枠側からガラス障子を開閉する仕様となっています。

左右の面付錠のどちらか一方を必ず施錠してお使いください。

※注意ラベル

！ 注意

- ガラス障子の開閉が軽い場合、半開状態では、風により動く場合があります。
- 開放時は、半開状態にせず全開状態で必ずキャッチをセットしてください。

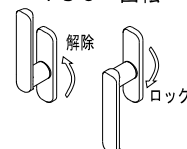


※ハンドル操作ラベル

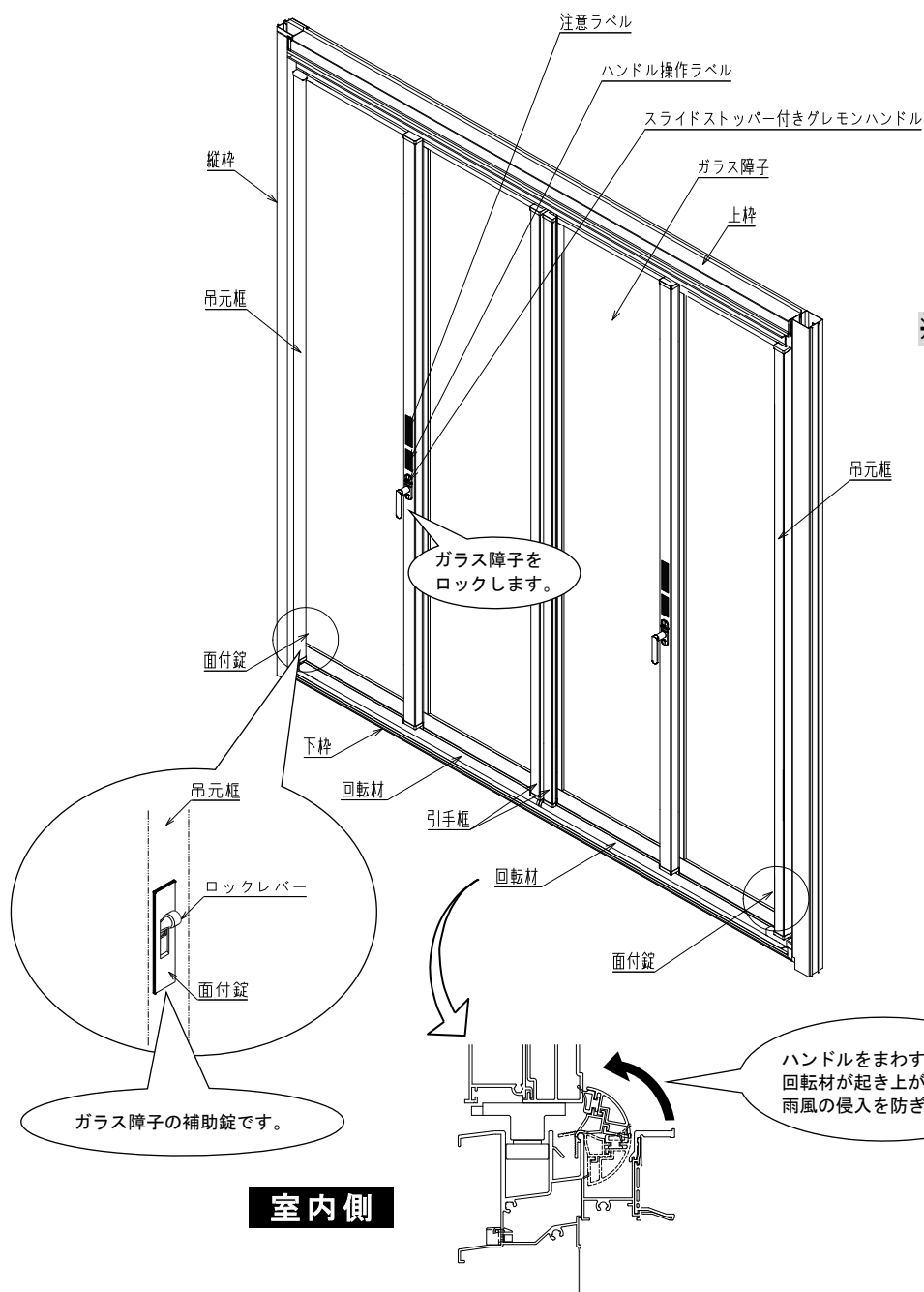
ハンドルの操作について

- ハンドルはガラス障子がまっすぐな状態で確実に180°まわしてください。

(開) (閉)
180°回転



- ガラス障子を閉める際は必ずハンドルを持って閉めてください。
- 開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。



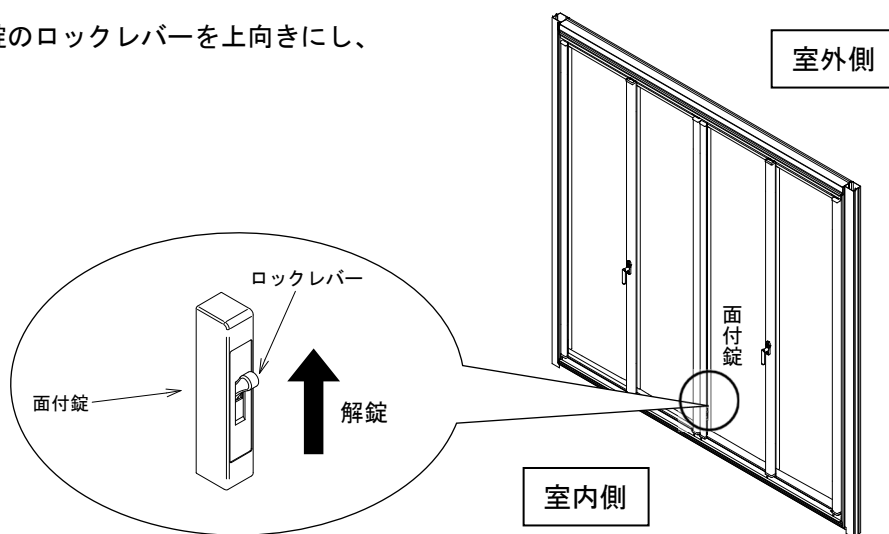
室内側

○印は、面付錠が付いている箇所です。

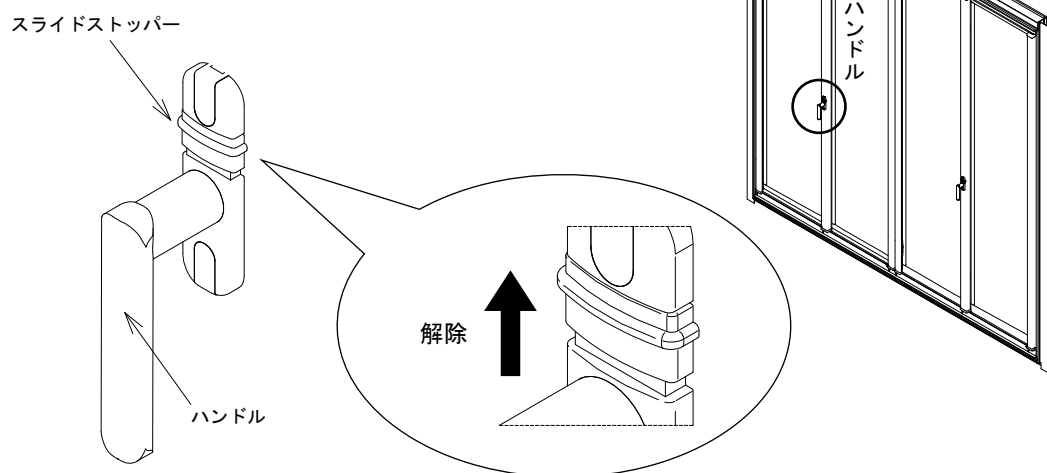
2 引分け開閉仕様 操作方法について

■ガラス障子を開くとき

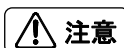
1. 図の位置にある面付錠のロックレバーを上向きにし、解錠してください。



2. 図のハンドルの、スライドストッパーのロック（緑色の表示が見えている状態）を解除（緑色の表示が見えない状態）してください。

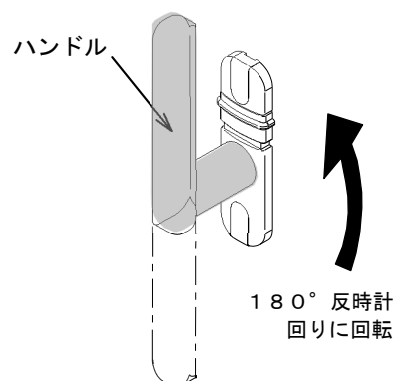


3. ハンドルを反時計回りに180°回転させ、上向きにしてください。ガラス障子のロックが解除されます。



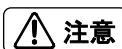
注意

ハンドルは、確実に上向きにしてください。
斜めの状態ですと、ガラスが破損するおそれがあります。



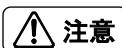
180° 反時計
回りに回転

4. 図のハンドルを持って、室外に向かって軽く押し出してください。



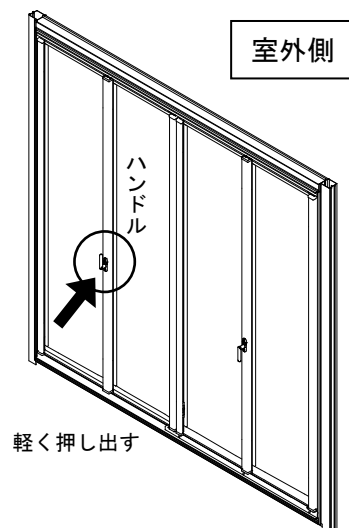
注意

ハンドルを持ったまま勢いよく外へ押し出すと、体が室外へ引っ張られ、ガラス障子に挟まれたり、室外へ転倒したりするおそれがあります。

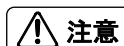


注意

面付錠を解錠していない状態で無理にガラス障子を開きますと、面付錠が破損するおそれがあります。

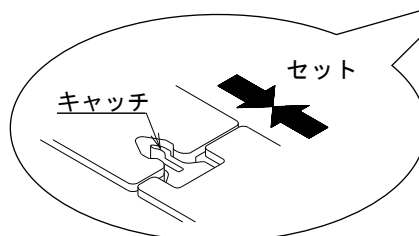
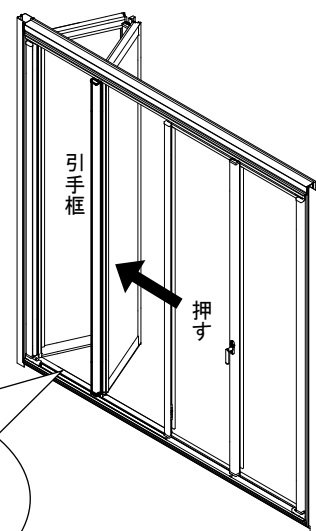


5. ハンドルから手を離し、図の引手框を押して、キャッチがセットされるまでガラス障子を折りたたみ、ガラス障子を全開にしてください。

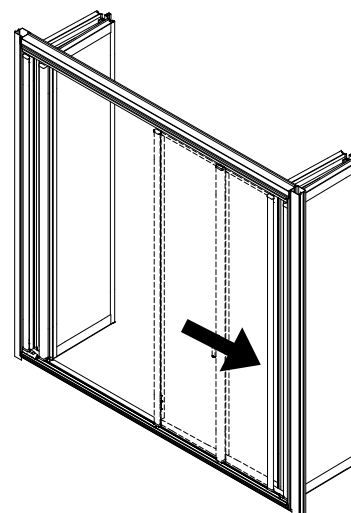


注意

ガラス障子の開閉動作が軽いので、キャッチがセットされていない状態では、風によりガラス障子が動く場合があります。
開放時は、必ず全開（キャッチがセットされた状態）にしてください。

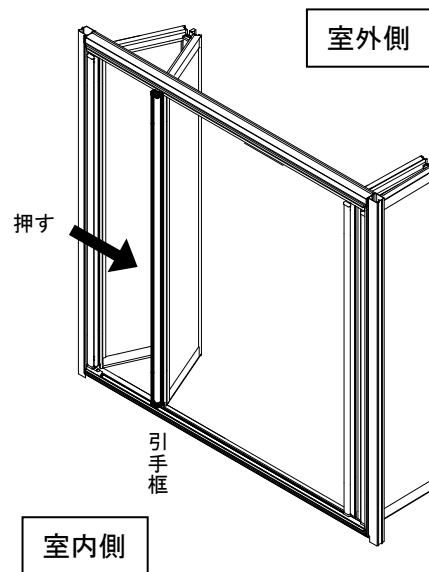


6. 反対側のガラス障子においても、手順2～5の操作を行ってください。

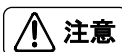


■ ガラス障子を閉じるとき

1. 図の引手框を押してハンドルを引き寄せ、掴んでください。

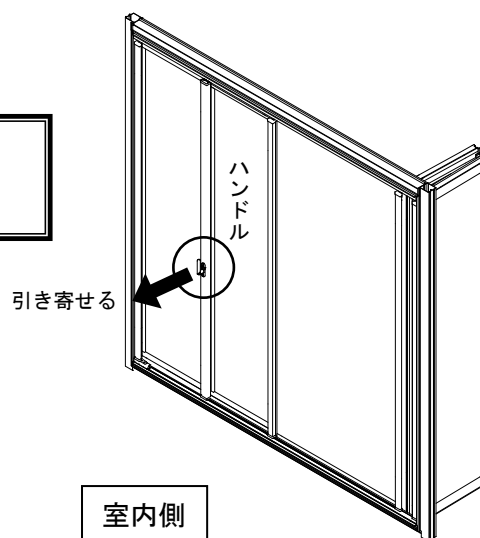


2. 引手框から手を離し、図のハンドルを室内側に引き寄せ、ガラス障子をまっすぐの状態にしてください。



注意

引手框の可動部に指を挟みケガをするおそれがあるため、引手框から手を離してください。

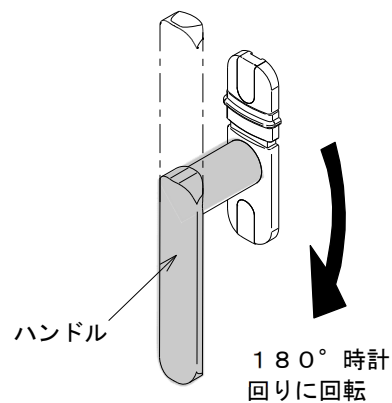


3. ハンドルを時計回りに180°回転させ、下向きにしてください。ガラス障子がロックされます。

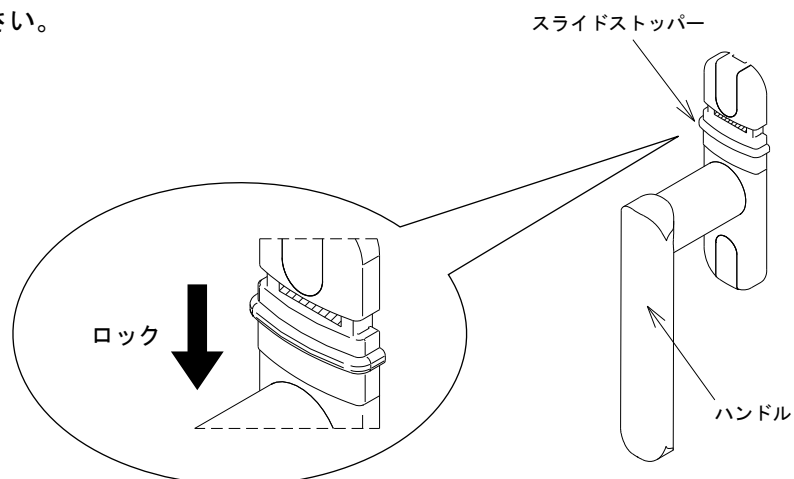


注意

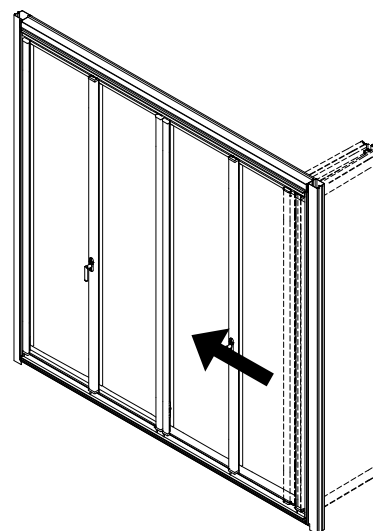
ガラス障子の開閉途中で、ハンドルを回さないでください。
ガラス障子を引き寄せない状態で無理に回すと、ハンドルが破損するおそれがあります。



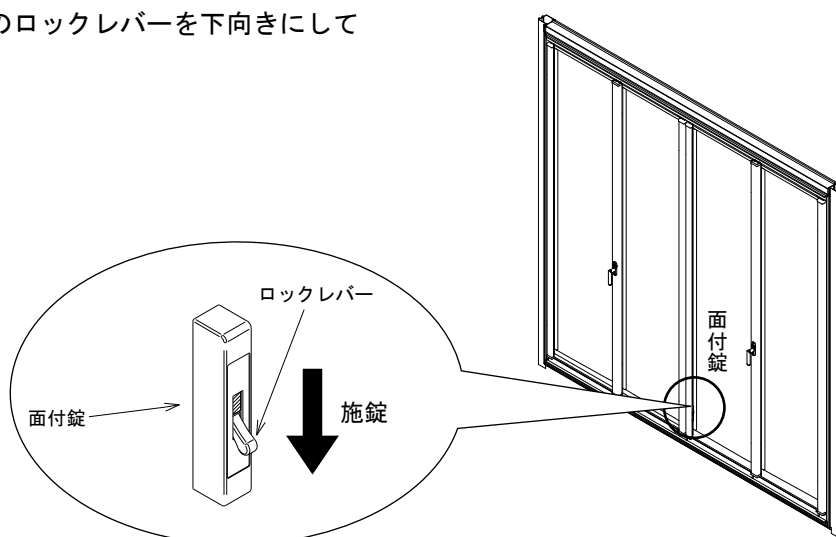
4. ハンドルのスライドストッパーをロック（緑色の表示が見えている状態）にしてください。



5. 反対側のガラス障子においても、手順 1 ～ 4 の操作を行ってください。



7. 図の位置にある面付錠のロックレバーを下向きにして施錠してください。



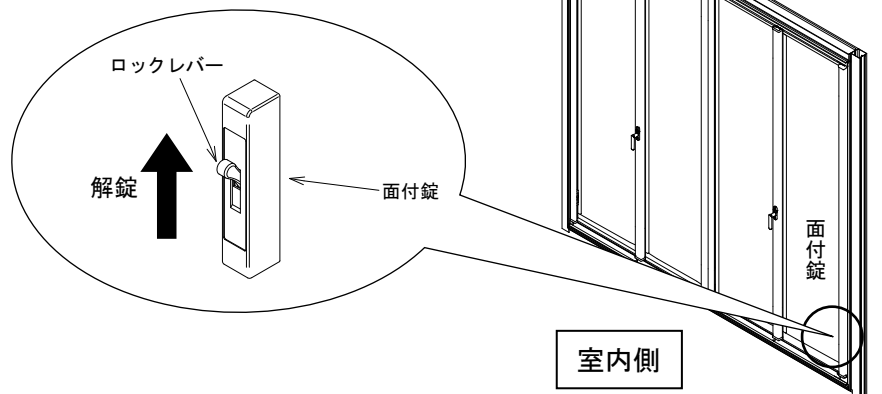
3 ダブルオープン仕様 操作方法について

■ガラス障子を向かって左に開くとき

下記はガラス障子を全て、向かって左に開く場合の手順になります。

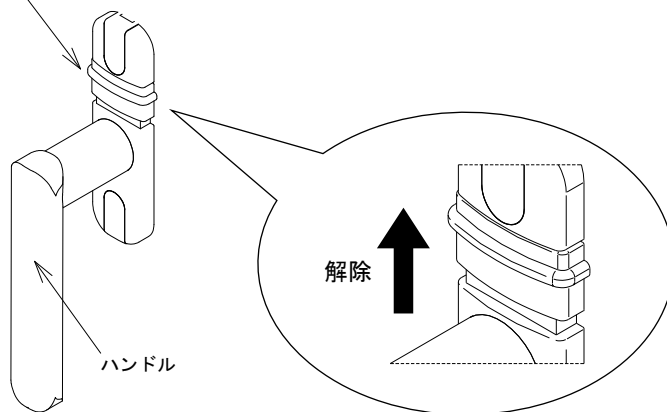
ガラス障子を向かって右に開く場合は、下記と左右逆の操作を行ってください。

1. 図の位置にある面付錠のロックレバーを上向きにし、解錠してください。

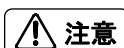


2. 図のハンドルの、スライドストッパーのロック（緑色の表示が見えている状態）を解除（緑色の表示が見えない状態）してください。

スライドストッパー

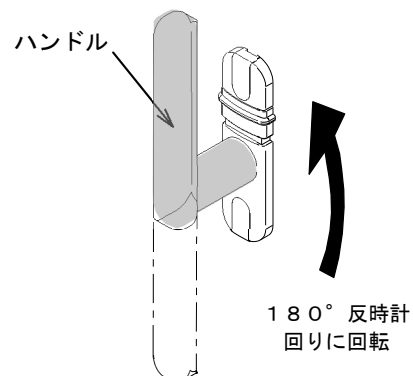


3. ハンドルを反時計回りに180°回転させ、上向きにしてください。ガラス障子のロックが解除されます。

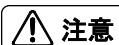


注意

ハンドルは、確実に上向きにしてください。
斜めの状態ですと、ガラスが破損するおそれがあります。

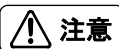


4. 図のハンドルを室外に向かって軽く押し出してください。



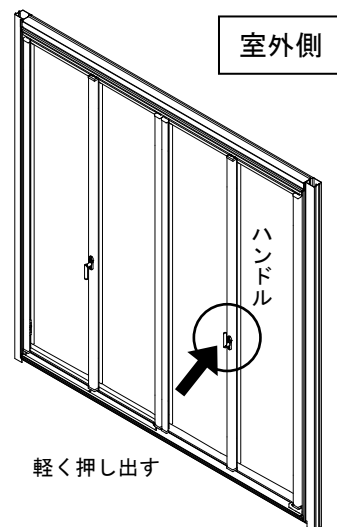
注意

ハンドルを持ったまま勢いよく外へ押し出すと、体が室外へ引っ張られ、ガラス障子に挟まれたり、室外へ転倒したりするおそれがあります。



注意

面付錠を解錠していない状態で無理にガラス障子を開きますと、面付錠が破損するおそれがあります。



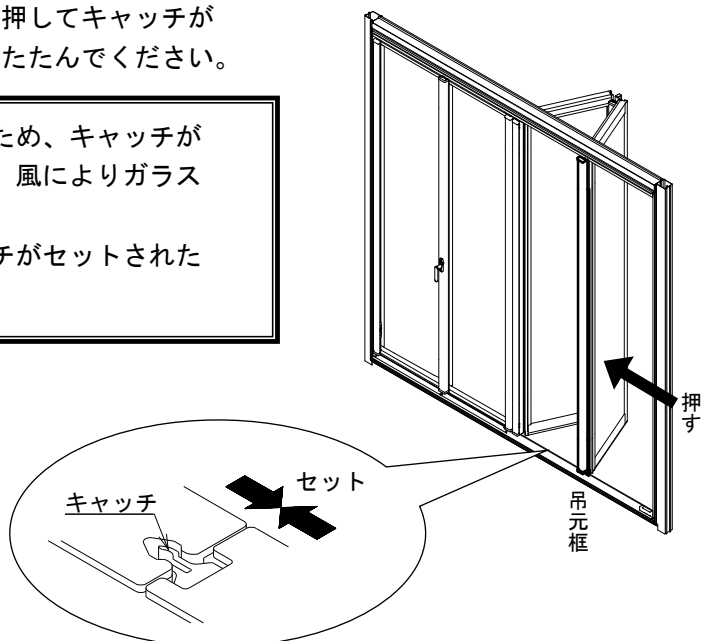
5. ハンドルから手を離し、図の吊元框を押してキャッチがセットされるまで、ガラス障子を折りたたんでください。



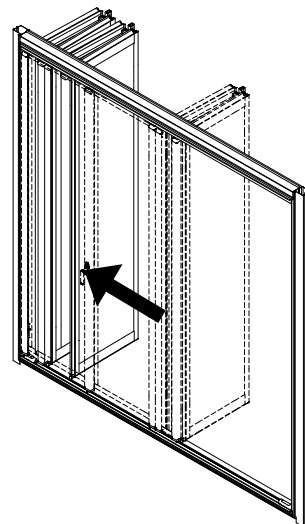
注意

ガラス障子の開閉動作が軽いため、キャッチがセットされていない状態では、風によりガラス障子が動く場合があります。

開放時は、必ず全開（キャッチがセットされた状態）にしてください。



6. 反対側のガラス障子においても、手順2～5の操作を行ってください。

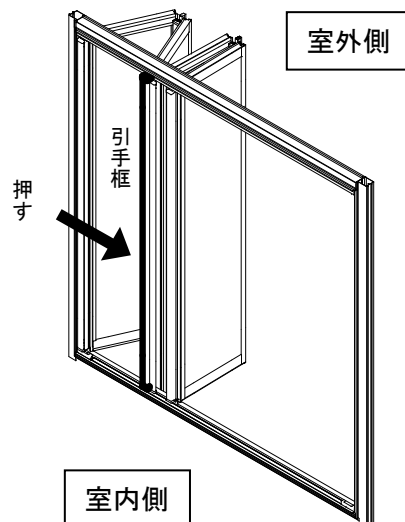


■ ガラス障子を向かって右に閉じるとき

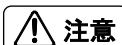
下記はガラス障子を全て向かって右に閉じる場合の手順になります。

ガラス障子を向かって左に閉じる場合は、下記と左右逆の操作を行ってください。

1. 図の引手框を押してハンドルを引き寄せ、掴んでください。

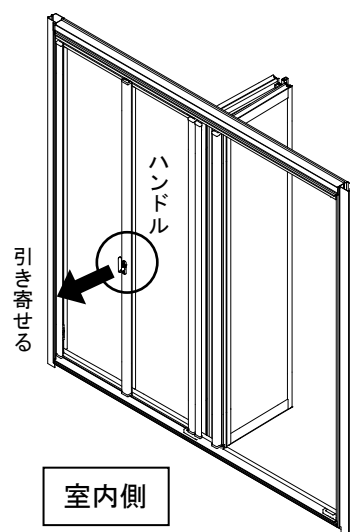


2. 引手框から手を離し、図のハンドルを室内側に引き寄せ、ガラス障子をまっすぐの状態にしてください。

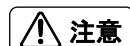


注意

引手框の可動部に指を挟みケガをする恐れがあるため、引手框から手を離してください。

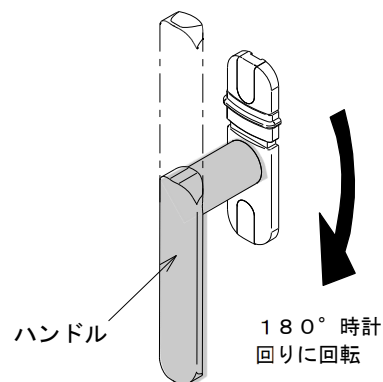


3. ハンドルを時計回りに180°回転させ、下向きにしてください。ガラス障子がロックされます。

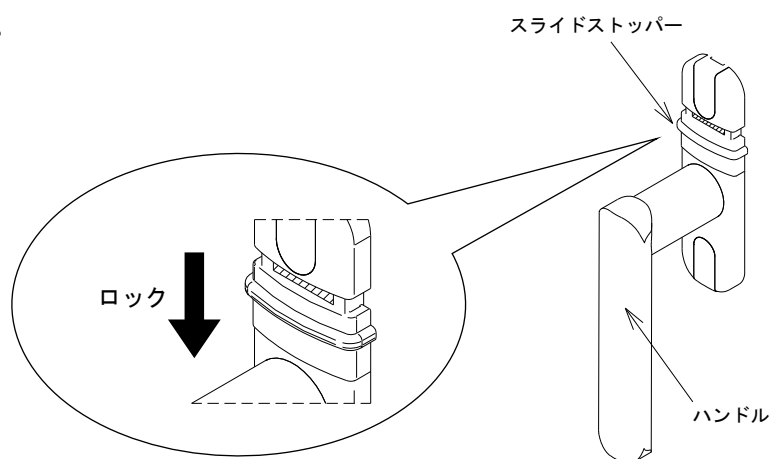


注意

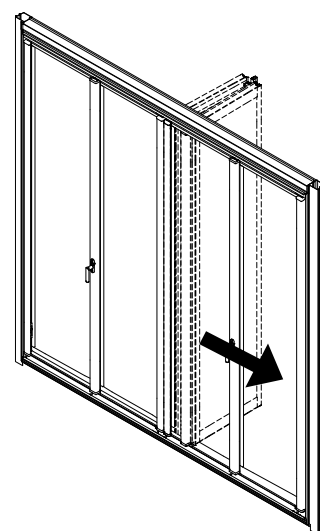
ガラス障子の開閉途中で、ハンドルを回さないでください。
ガラス障子を引き寄せない状態で無理に回すと、ハンドルが破損するおそれがあります。



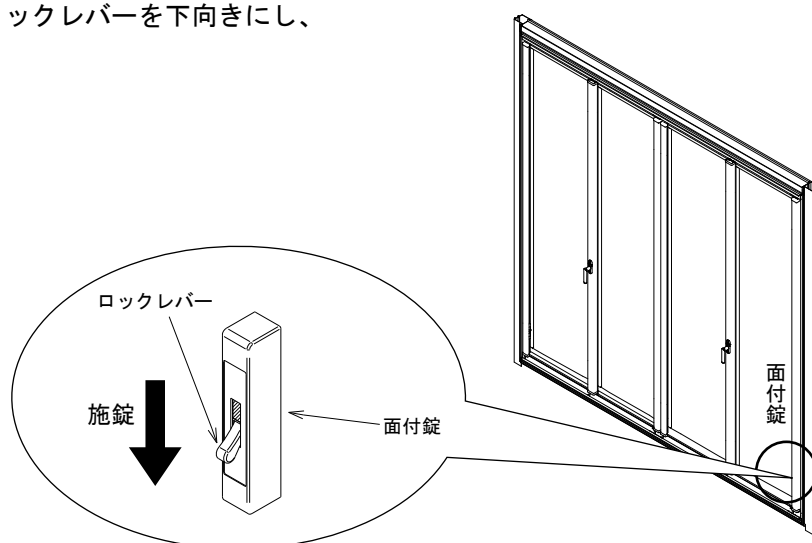
4. ハンドルのスライドストッパーをロック（緑色の表示が見えている状態）してください。



5. 反対側のガラス障子においても、手順1～4の操作を行ってください。



7. 図の位置にある面付錠のロックレバーを下向きにし、施錠してください。



4 ラッチの操作(引分け開閉仕様の場合)

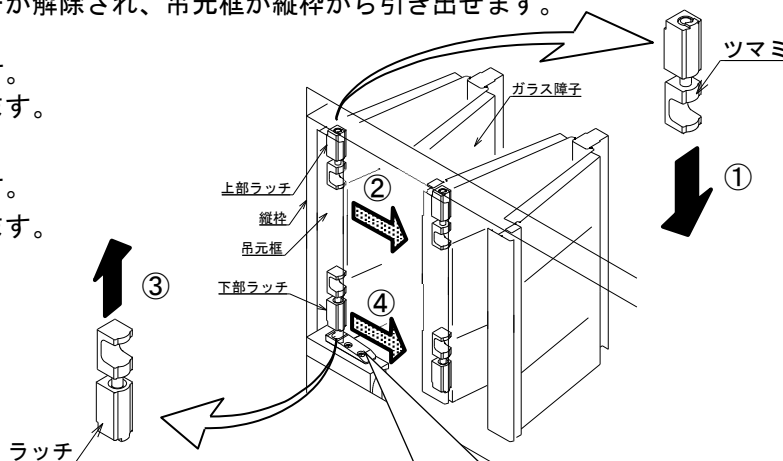
ラッチを解除しながら、ガラス障子を縦枠内から引き出すことにより、ガラス障子を移動させることができ、下枠の両隅部に溜まったゴミ・汚れなどを除去・お掃除することができます。

※ダブルオープン仕様のガラス障子はラッチで固定されていないため、以下のラッチの操作は必要ありません。

ラッチの解除

○ 上・下ラッチのつまみを引くとラッチが解除され、吊元框が縦枠から引き出せます。

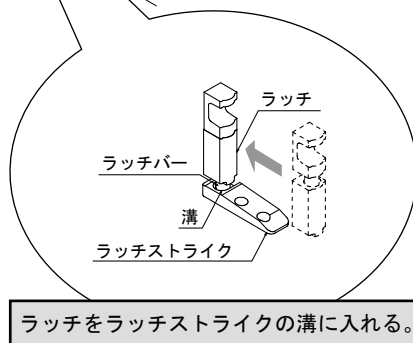
- ① 上部ラッチのつまみ部分を引きます。
- ② ①の状態、吊元框の上方を引きます。
吊元框が、縦枠から離れたら、
- ③ 下部ラッチのつまみ部分を引きます。
- ④ ③の状態、吊元框の下方を引きます。
縦枠から、吊元框が離れます。



ラッチのロック

○ 移動したガラス障子を閉じるときは、吊元框を縦枠に戻してください。ラッチは自動的に納まりロックされます。このとき、縦枠から吊元框が抜けないことを確認してください。

お願い ラッチがラッチストライクに入りにくい場合は、すべてのガラス障子を閉じれば、自動的にラッチストライクに入ります。ラッチストライクの溝にゴミが溜まりますと、ラッチが入りにくくなる場合がありますので、お掃除の際はラッチストライクの溝も清掃を行ってください



5 豆知識

結露について

○ このサッシは、室内側に断熱性の高い樹脂を使用した「断熱サッシ」です。

一般のアルミサッシと比較して結露の発生は抑えられますが窓ガラスやサッシ部分の結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生します。

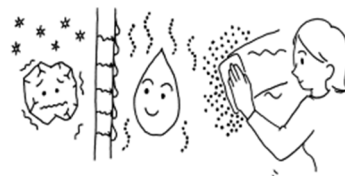
○ 結露が発生した場合、床や壁の汚損防止・木部の腐食防止のために、十分に拭きとってください。

一般には、秋冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止のために加湿機をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。

特に新築の家には使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期にその水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。

結露をできるだけ抑える方法として、

- ① こまめに換気して室内の水分を含んだ空気を排出すること
 - ② 室内で洗濯物を干さないこと
 - ③ 灯油ストーブの上で湯をわかさないこと
- などを心がけてください。



6 お手入れについて

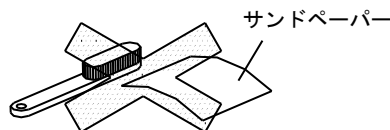
サッシは、アルミニウムや樹脂などによって構成されています。
商品をより長くご愛用いただくためには、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。

○長期間、清掃しないまま放置しておきますと、表面に付着した汚れは、空気中の湿気や雨水の影響を受けてシミや腐食の原因となりますので、汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。

○樹脂部材は、アルミニウムなど他の材質と比べると、傷つきやすい性質があり、砂やほこり、油分などを長時間付着したままにすると、シミの原因となりますので、汚れが軽いうちに清掃してください。また塩素系薬品がサッシに付着したまま放置された場合、表面が変化することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

○お掃除の際には、柔らかい布（ぞうきんなど）をご使用ください。金属タワシ、サンドペーパーやワイヤーブラシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもととなりますので、使用しないでください。また洗剤は、必ず中性洗剤^(注)をご使用ください。

（注）：例えば、食器洗い用中性洗剤



汚れが軽い場合

1. 水でぬらした布で汚れを拭き取ります。
2. 乾いた布でから拭きします。

汚れがひどい場合

1. 表面についた砂、ほこりをていねいに取り除きます。
2. 水でぬらした柔らかい布で、全体の汚れを拭き取ります。
3. 中性洗剤をうすめた液を含ませた柔らかい布で拭いて汚れを落とします。
4. 水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ります。
5. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

下枠のお手入れ

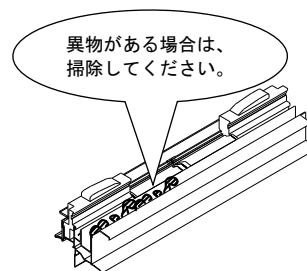
サッシの下枠は、砂や泥、ほこりの溜まりやすいところです。

戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、汚れや異物に気付かれた際には、都度掃除をするようにしてください。

特に、回転材を取り外した溝部に異物があった場合、回転材が動かないといった不具合が発生する可能性があるため、異物に気付かれた際には、溝部を都度掃除をするようにしてください。

その際には、取り外した回転材も掃除をするようにしてください。

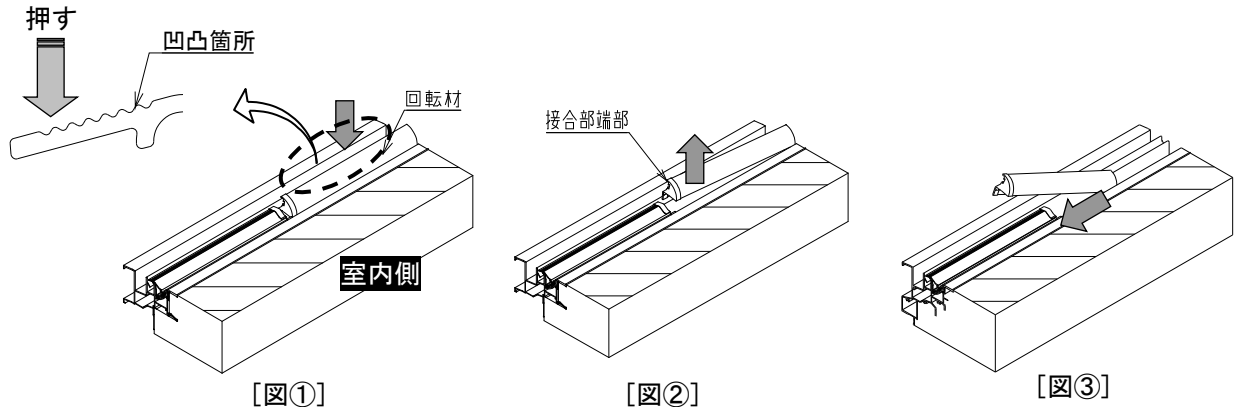
1. 回転材を取り外します。（18ページ参照）
2. 掃除機やハケで、砂やほこりをていねいに取り除きます。
3. 水でぬらした柔らかい布で、全体の汚れを拭き取ります。
※溝部などは割り箸の先などに柔らかい布を巻きつけ拭き取ります。
4. 中性洗剤をうすめた液を含ませた柔らかい布で拭いて汚れを落とします。
5. 水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ります。
6. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
7. 回転材を取り付けます。（18ページ参照）



回転材の脱着方法

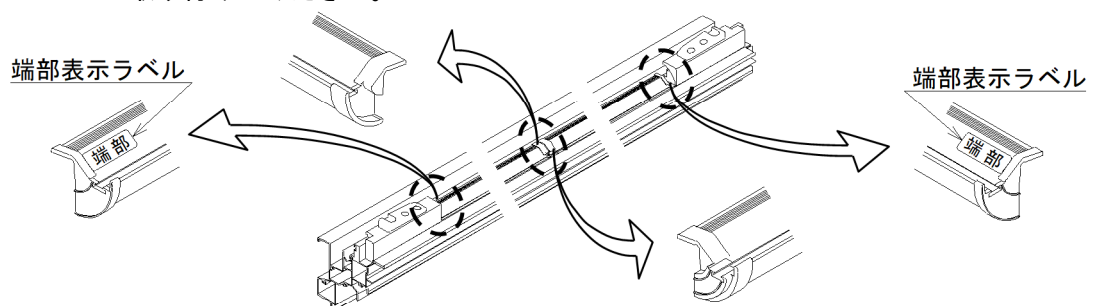
【回転材の取り外し】※室内から見て右側から外してください。

1. ガラス障子をすべて開きます。
2. 回転材の凹凸になっている箇所の先端部を指で押し、回転材を起こします。（図①参照）
3. 回転材の接合部端部を少し上に持ち上げます。（図②参照）
4. 枠中央側にスライドさせながら回転材を取り外します。（図③参照）
※真上に取り外そうとすると、ガラス障子にあたり、回転材が破損するおそれがあります。
5. 残りの回転材も2～4の要領で取り外します。

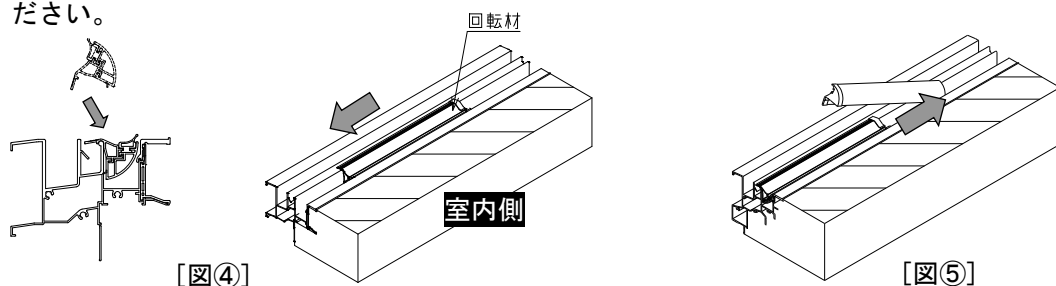


【回転材の取り付け】※室内から見て左側から付けてください。

お願い 回転材には左右が決まっています。
取り付ける際は、端部表示ラベルが貼ってある方をサッシの両端になるように取り付けてください。



1. 枠中央部付近で回転材を取り付け、室内から見て左側にスライドさせてください。（図④参照）
2. もう一方の回転材は、室内から見て右側に向かってスライドさせながら取り付けてください。（図⑤参照）
3. 回転材の凹凸になっている箇所の先端部を指で押し、回転材が回転することを確認してください。



7 保守点検について

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故などの原因になるおそれがあります。

次のような不具合がないか、お手入れのときなどを利用して点検して処置してください。

こんなとき	ここをお確かめください
ハンドルが回らない	ハンドルのスライドストッパーがロックされた状態になっていませんか。 → ハンドルのスライドストッパーを解除してから、ハンドルを回してください。 (8, 12 ページ)
	回転材が左右逆に取り付けられていませんか。 → 回転材が正規の位置に取り付けられていることを確かめてから、ハンドルを回してください。 (18 ページ)
ガラス障子が開かない	面付錠がロックされた状態（ロックレバーが下向きの状態）になっていませんか。 → ハンドルをロックしてから、面付錠のロックレバーを上げ、ロックを解除してください。 (8, 12 ページ)
	ハンドルが下向きの状態になっていませんか。 → ハンドルを確実に180° 回転させ上向きの状態にしてからガラス障子を開いてください。 (8, 12 ページ)
ガラス障子が完全に閉じない	下枠内に石などが入っていませんか。 → 下枠内に石や物がないことを確かめてから開閉してください。 (17 ページ)
	ガラス障子が完全に閉じていない状態でハンドルをまわしていませんか。 → ハンドルを上向きの状態にし、ガラス障子を完全に閉じてから、ハンドルを下向きにしてください。 (10, 14 ページ)
	ガラス障子を閉じるとき、ハンドルが下向きの状態になっていませんか。 → ハンドルを180° 回転させ上向きの状態にし、その状態でガラス障子をまっすぐにしてから、ハンドルを180° 回転させ下向きにし、閉じてください。(10, 14 ページ)
	面付錠がロックされた状態（ロックレバーが下向きの状態）になっていませんか。 → 面付錠のロックレバーを上げ、ロックを解除してから、ガラス障子を閉じてください。 (11, 15 ページ)

8 修理依頼について

■お客様メモ（ご購入の際、記入しておかれますと便利です。）

商 品 名	
入 居 年 月	年 月 日
建築会社または工務店	社名
	TEL — —
販 売 店	社名
	TEL — —
メ モ	

商品の修理依頼、部品交換などについては、まずご契約・ご購入された施工業者または販売店にご連絡ください。
商品についてのお問い合わせ・ご相談は当社へお問い合わせください。

9 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または当社に修理をご依頼ください。

■ 対象商品

住宅建材商品

■ 保証期間

施工者様より引き渡し日（注１・注２）から２年間。

ただし、商品から雨水浸入については１０年間

（注１）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注２）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■ 保証内容

取り扱い説明書・本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

1. 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合。
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など。）
2. 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合。
3. 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
4. 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび・かびまたはその他の不具合。
5. 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合。（例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など。）
6. 商品または部品の材料特性に伴う現象。（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど。）
7. 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
8. 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
9. 犬・猫・鳥・鼠などの小動物に起因する不具合。
10. 引き渡し後の操作の誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
11. お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要備品の取り外しを含む）に起因する不具合。
12. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
13. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社にお問い合わせください。

